

ケロニャンヌ

やす だ か な
安田夏葉作

しんやゆうこ絵

こうだんしゃ
講談社

ずっとたいせつに飼^かっていたカエルのケロポンが死^しんでしまった。学校^{がっこう}でいやなことがあってもわらせてくれた、たいせつな友^{とも}だちだ。もう一^{いっ}匹^{びき}のペット、ネコのマリニャンヌが死^しんだとき、ずっといっしょにしようねって言^いったのに。悲^{かな}しくて学校^{がっこう}を休^{やす}んだ日^ひ、ベッドのあし元^{もと}でへんな動物^{どうぶつ}が「ふせ」をしていたんだ。ぼくを心配^{しんぱい}した二^にひきが、「残り命^{のこいのち}」を合^あわせて生きかえって、帰^{かえ}ってきてくれたんだって！

ペットとの絆^{きずな}を通して、それぞれ命^{いのち}の時間^{じかん}について考^{かんが}える物語^{ものがたり}。

